

第7回豊島区介護保険事業計画推進会議資料に関するご意見・ご要望等への対応状況について

資料番号	ページ	項目	ご意見・ご要望等	回答	所管	
1	資料1	P12	(3)一人暮らし高齢者	【高齢者人口における一人暮らし割合の推移】は右肩上がりであるが、【一人暮らし高齢者の民営借家住まいの割合の推移】では2000年から2005年にかけて急激に下がっている。その理由が分かれば教えてほしい。	明確な原因は分析されていませんが、過去の国勢調査の結果より、2000年から2005年にかけて高齢者人口は急速に増加し、一人暮らし高齢者も大幅に増加しました。また、一人暮らし高齢者は、他の高齢者世帯と比べて持ち家率が低く、民営借家の割合が高いとの結果も出ています。 一方で、2000年から介護保険制度が開始されたことにより、高齢者向け施設等(特に、特養・老健・有料老人ホーム・認知症グループホーム)の整備が進み、利用者数が増加しました。 施設等の利用者は民営借家には分類されないため、施設等の利用者増加により、2005年の国勢調査では、民営借家の割合が減少したと考えられます。	介護保険課
2	資料1	P13	(4)健康寿命	男性健康寿命の縦軸は、目盛2つで1歳、女性はメモリ1つで1歳上がる形となっており、その点を統一したほうが比較しやすい図となります。 男性健康寿命と女性健康寿命の最大値と最小値をそろえると、より比較しやすいと思います。	男性・女性ともに、縦軸を80～87歳で統一した表記に修正しました。	介護保険課
3	資料1	P57	令和22(2040)年を見据えた将来像	現在の「高齢者が主役となって、つながり、支え合い、幸せに住み慣れた地域で暮らせるまち としま」に加えて、「元気な高齢者がたくさん住んでいるとしまを目指す」という趣旨の文言を入れてほしい。	この将来像は第8期計画において、令和22(2040)年を見据えて地域包括ケアシステムを推進するために設定しました。第9期計画においても、国の基本指針等を踏まえて、引き続き地域包括ケアシステムを推進していくため、この将来像は据え置きたいと考えています。各施策について、委員ご指摘の趣旨を踏まえて推進していきます。	介護保険課
4	資料1	P62	①短期集中通所型サービスの充実	東京都のモデル事業として効果検証を行い、効果があることが確認された、とありますが、東京都のモデル事業がどのようなものか書かれていません。どのようなモデル事業であるのか一部記載されてはどうかと思います。	モデル事業検証結果の表の下部に、本事業の概要を記載しました。	高齢者福祉課